

# ちがいのちがい

## ～男女共同参画社会について考える～

中学校 3 年生

### I アクティビティについて

#### ねらい

日常生活の中で何気なく見過ごしたり、当たり前のように感じたりしがちなことから焦点を当てた学習活動を通して、男女の人権にかかわる問題への気づきや認識を促進し、男女が協力してよりよい社会を築きあげようとする意欲や態度を育てる。

#### ◆◆◆視点◆◆◆

- ◎参加・参画
- 共感と連帯感
- コミュニケーション能力

#### 設定の理由

生徒の日常の言動の中には、性別にもとづく固定的な偏った役割分担意識がしばしば見受けられる。男女平等、男女共同参画社会の実現のためには、中学校段階で男女の人権をめぐる問題への関心を育て、健全な異性観や男女平等観を養うことが大切である。

そこで、ワークシートを活用した学習活動を通して、男女平等や男女共同参画の大切さに気づき、その実現に努めようとする意識や態度を育てたい。

#### アクティビティの概要 (1 時間扱い)

- 活動1 グループ編成  
・アイスブレイキングにより、話し合いのグループを形成させる。
- 活動2 ちがいのちがいカードの分類、話し合い活動  
・カードの分類により、参加・参画の技能を高める。  
・集計用紙への記入・発表・課題についての話し合いを通して人権（男女平等）感覚を高める。
- 活動3 振り返り  
・他者の感想を参考に、よりよい男女の参画・参加の方法について考える。

## アクティビティーの実際

- 準備するもの
  - ・ちがいのちがいカード（各自1セット）
  - ・設問集計用紙（各グループ1枚）

### □ アクティビティーの進め方

#### 活動1 アイスブレイキング（バースデーチェーン）

- ① アイスブレイキング（バースデーチェーン）を実施する。

##### <やり方>

- ・無言で、性別に関係なく生年月日の早い順に円形に並ばせる。
- ② 生年月日の早い順に5人ずつ区切りグループを決める。
  - ③ 各グループから代表者を1名決める。

#### 活動2 ちがいのちがい

- ① 「ちがいのちがい」に取り組みさせる。
  - ・個人で「あっていいちがい」と「あってはならないちがい」について考え、カードの分類を行う。
- ② グループ内での意見交換を行う。
  - ・自分の考えを述べる際は、理由も述べさせる。
- ③ 全体で話し合う。
  - ・代表者は、集計用紙に意見を集約し発表する。
  - ・「あっていいちがい」と「あってはならないちがい」について全体で話し合う。

#### 活動3 振り返り

- ① ワークシートを使って振り返り活動をさせる。
  - ・自分の意見と他者の意見を比較する。
  - ・他者の考えに対する理解を深める。
  - ・よりよい男女の参加・参画の方法について自分が努力しようと思うことについて考えを深める。

##### <振り返りの留意点と発問例>

- このアクティビティーを通して、グループで協力して集計作業をする過程で、互いの価値観の違いについて感じたことや、気づいたことについて話し合いを深めさせる。

発問例

「ちがいのちがいカード」の分類をとおして、感じたこと・気づいたことについて発表しよう。

- 友だちの考えと比較して、新たな発見をしたことについてふり返らせる。

発問例

友だちの考えと違ったところがありましたか。また、それは、どんなところでしたか。

- 学習をとおして深められた自分の考えをもとに、男女共同参画社会を実現していく上での今後の課題や推進の方策について考えを深めさせる。

発問例

みんなが「自分らしく」生きられる社会をつくるには、どんなことをしたらよいと思うか、自分は何ができるか、話し合ってみましょう。

### アクティビティを指導するポイント

- ◇ カードの分類にあたっては、自分の考えで行うが、その理由を話し合い活動で言えるようにアドバイスする。
- ◇ アクティビティの目的である参加・参画のスキルを高められるよう話し合い活動の時間を十分取るよう配慮する。
- ◇ 活動3のワークシートによるふり返りで、男女共同参画の方法について各自が考察することによって、互いのコミュニケーションの技能も高められるよう、さらに他者の発表を傾聴する姿勢についても指導する。

## Ⅱ 授業展開例

～中学校3学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教師の働きかけ
1	<p style="text-align: center;">体験活動（ちがいのちがい）：「あってよいちがい」、「あってはならないちがい」について考えてみよう。                      &lt;男女共同参画社会の実現に向けて&gt;</p> <p>1 体験活動の意義と手順の確認</p> <p>2 グループ編成                      ・生年月日の早い順に円形に並ぶ。5人程度のグループになる。</p> <p>3 「ちがいのちがいカード」の分類                      ・自分の考えで「あってよいちがい」・「あってはならないちがい」・「どちらともいえない」の3つに分ける。                      ・代表を中心にグループの考えを集計用紙に集約し発表する。</p> <p>4 課題についての話し合い                      ①「あってはならないちがい」                      ②「どちらともいえない」</p> <p>5 活動を終えてのふり返り                      ・ワークシートへの記入                      ・活動を実施して気づいたこと、感じたことを互いに発表する。</p>	<p>○集団へのよりよい参加・参画の手段として、本時のアクティビティーを実施することを準備を含めて指導する。</p> <p>○教師が前面に立ち、性別に関係なく、無言で並べる。</p> <p>○グループの中から、1人代表を決めさせる。</p> <p>○男女平等の視点にたって社会事象を捉えようとする態度を育む。（男女共同参画）</p> <p>○自分の考えの理由を、グループ内で説明できるように指示する。</p> <p>○教師は、活動の具体的な動き（手順・討議方法等）について生徒各自が見いだすことができるようにアドバイスする。（実践力）</p> <p>○ふり返り活動を通して、男女の人権にかかわる問題の存在に気づき、学習を深めることができたかをまとめさせる。</p> <p>○他者の感想を参考に、相互の人権を尊重しながら、よりよい男女の共同参画が目指せる技能を身につける。</p>

## Ⅲ 資料

## (1) 「ちがいのちがい」カード

## 「ちがいのちがい」カード

1 国会議員は、圧倒的に男性が多く女性が少ない。

6 学校では、男子は男子用トイレを女子は女子用トイレを使う。

2 ある高校では、体育祭での「男女混合リレー」で、男子は200m、女子は100mを走る。

7 ランドセルは男子は黒色で女子は赤色が多い。

3 テレビやポスターには女性の水着姿が多いが、男性の水着姿はほとんどない。

8 女性の医師に対しては「女医」というが、男性の医師には「男医」とは言わない。

4 両親は妹には食事の後片付けを言いつけるが兄には何も言わない。

9 運動会のかけっこで男子が女子に負けると笑われたが、女子は男子に負けても笑われなかった。

5 結婚すると、妻が夫の姓に変わることが多い。夫が妻の姓に変わることは少ない。

10 Cさんの家では必ず父親が最初に風呂に入り、母親はいつも最後に入る。

## (2) 集計用紙の例

## &lt; 集計用紙の例 &gt;

		1班	2班	3班	4班	5班	6班	合計
問 1	あってよい	0	0	1	0	1	0	2
	どちらともいえない	0	2	1	3	0	1	7
	あってはならない	5	3	3	2	4	4	21

- ふり返り：今日の学習で、感じたことや考えたことをまとめてみましょう。

○「ちがいのちがいカード」の分類をとおしてわかったこと。

○「男らしく」「女らしく」ではなく、「自分らしく」を大切にするにはどうしたらよいですか。